

2020年度 第4回研修会 「鈴鹿の上高地」(東近江市) 報告

報告者 橋木啓子

日時: 2020年11月15日(日) 9:00~15:30

参加者: 小西(民)、水田、高橋、関澤、上萩、平田(輝)、小西(み)、橋木

<下見は10月31日(土) 小西(民)、水田

朝の冷え込みで発生した霧が少しずつ薄れた頃、朝明観光駐車場に到着したが、すでに満車で一段下の駐車場に停めることとなった。紅葉シーズンで、早朝からの登山者が多くだけでなく、前日に登って、山頂近くでテント泊している人も結構いるらしい。

歩き始めると、登山口までのアスファルト道の両側には、タカノツメとシロモジの黄葉にカエデの紅葉がとても鮮やか!

旧千種街道登山口から朝明溪谷に沿って根の平峠まで登っていく。道の横に大きな石! そして前夜山で過ごして下山してきたと思われる登山者グループいくつもとすれ違う。

砂防ダムのところで一休み。名古屋方面を見はらせる場所だが、あいにく曇っていて視界良好とは言えず、残念。近くにアカマツとクロマツの若木が並んでいて、新芽が赤いのがアカマツ、白いのがクロマツと教えていただく。結構な勾配を頑張って登って登ってやっと峠にたどりつく。ここまでの間に見られた樹木は、アカガシ、クロモジ、オオウラジロノキ(樹皮には、トゲがいっぱい!) ミヤマシキミ、タノウツギ、ヒサカキ、アセビ、コハウチワカエデ、アカマツ、クロマツなど。野草はフモトスミレ、ショウジョウバカマ、オカタツナミ、タチツボスミレ、イワカガミなど。

上高地まではまだ距離があるが、ここからはパラダイスのはず...と緩やかになった道を進む。上水晶谷方面から上高地に向かい、タケ谷へと周回し再び根の平に出るコースを行く。途中枯れ木についたナメコを発見し大喜び! 皆で少しずつ分けていただく。ホオノキの大きく白い落葉が地面いっぱい広がっているのは壮観! 横には大きなスギ、アスナロの稚樹が見られる。アスナロは陰樹なので、親木のすぐ近くでもよく育っていた。この辺りの紅葉の最盛期は過ぎていて、葉が落ちた樹木は、落ち葉と樹皮で見分けることになるが、並んで立っているキハダとヤマナラシの樹皮はよく似ている。

上水晶谷で川を渡り、ミズメやトチノキも現れた。青空をバックにオオモミジ、コミネカエデなどの黄葉、紅葉が美しい林を進む。この辺りが上高地とすると、この沼地は...大正池? 規模が小さくてちょっと無理があるが...。カツラの大木の近くでようやくお昼ごはん。晩秋の日差しは暖かいが、風は冷たい。食後川岸に降りると、オオウラジロノキの実がたくさん落ちていて、白いホオノキの葉裏に小さいりんごのような実や落ち葉を並べて楽しんだ。上を見ると、ずいぶん高い枝先にはまだいくつか実が残っていた。カツラの前で記念撮影。タケ谷を経て峠まであと半周弱の上高地を楽しみながら歩く。こちらにもナメコが! なんとザトウムシがナメコを食べている。炭焼き窯の跡地にホオノキの葉が吹き溜まっていた。

峠からは急な下り坂となる。足をいたわりつつ、美しい風景を惜しみつつ下る。今回もたくさんの植物を観察できたが、春から夏にはきっと野草もたくさん見られるはず。そんな季節の“上高地”にも来てみたいと思いながら、予定より少し遅れて全員無事に下山。皆さまお疲れさまでした! そして有意義な研修に大感謝でした!



タカノツメ



シロモジ



イロハモミジ



朝明溪谷



いよいよ登山開始！



オオウラジロノキの樹皮



巨大な石



ミヤマシキミ



フモスミレ



ショウジョウバカマ



ナメコ！



イワカガミ群落



アスナロ稚樹



大スギ



イワカガミ：赤紫色は紫外線対策のアントシアニン



ホオノキの落葉がいっぱい！



ヤマナラシの樹皮



キハダの樹皮



オオモミジとコミネカエデ(中央)



大正池に見える？



ナメコを食べるザトウムシ



オウラジロノキの実と落葉



トチノキ



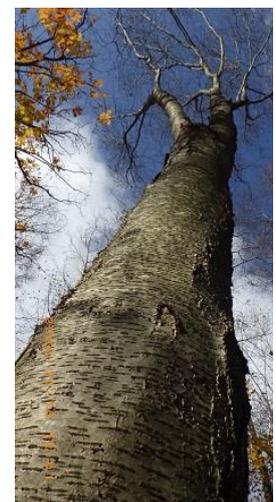
マルバマンサク



カツラの前で記念撮影！



炭窯の跡



ミズメ